

とよひら・リンク NewsLetter

発行 札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会 「とよひら・リンク」事務局

札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会



とよひら・リンク

ホームページ: <http://www.toyohiralink.jp/>

令和6年度 第4回合同会議を開催しました。

令和7年3月31日(月) 18:30~20:00 (Zoomでのオンライン)

令和6年度、第4回「合同会議」を開催いたしました。医療・介護関係者等、104名が参加されました。今回もZoomの接続、講演中のミュート等、円滑な運営の協力ありがとうございました。

令和6年度診療報酬改定、介護報酬改定で医療機関と介護保険施設等の連携の推進の評価が行われました。

以下図(③高齢者施設等感染症対策向上加算Ⅱ)の関連で、西岡病院の感染管理看護師が高齢者施設(特別養護老人ホーム1ヶ所、介護老人保健施設2ヶ所、グループホーム1ヶ所)に訪問し、実地指導を行いました。

今回その実地指導内容を報告し、地域で取り組むことを共有しました。

令和6年度介護報酬改定 高齢者施設等における感染症対応力の向上

(対象サービス)

特定施設入居者生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護、介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、介護老人保健施設、介護医療院

令和6年7月22日
新型コロナウイルス等の感染拡大に
対応する有識者ヒアリング

資料3

① 新興感染症の対応を行う医療機関との連携 (新設)

第二種協定指定医療機関との連携を行うことを高齢者施設等の運営基準において努力義務化。

② 高齢者施設等感染症対策向上加算(Ⅰ) 10単位/月 (新設)

新興感染症の対応を行う医療機関と連携した上で、当該医療機関等が行う院内感染対策に係る研修又は訓練に年1回以上参加することなどを評価。

高齢者施設等

- ・ 感染症法第6条第17項に規定する第二種協定指定医療機関との間で、新興感染症の発生時等の対応を行う体制を確保すること
 - ・ 協力医療機関等との間で、感染症の発生時の対応を取り決めるとともに、感染症の発生時に、協力医療機関等と連携し適切に対応していること
- ※新型コロナウイルスを含む

第二種協定指定医療機関
等との連携院内感染対策に関する
研修または訓練に年1回参加

医療機関等

- ・ 第二種協定指定医療機関(新興感染症)
- ・ 協力医療機関等(その他の感染症)
- ・ 診療報酬における感染対策向上加算若しくは外来感染対策向上加算に係る届出を行った医療機関又は地域の医師会

③ 高齢者施設等感染症対策向上加算(Ⅱ) 5単位/月 (新設)

感染対策に係る一定の要件を満たす医療機関から、感染制御等の実地指導を受けることを評価。

高齢者施設等

3年に1回以上
実地指導を受ける

医療機関等

- ・ 診療報酬における感染対策向上加算に係る届出を行った医療機関

※ 新型コロナウイルス感染症については、これまでの新型コロナ対応において、高齢者施設等と医療機関との連携体制の構築等を進めており、令和5年10月1日時点で高齢者施設等の概ね9割の高齢者施設等が医療機関との連携体制の確保、感染症の予防及びまん延防止のための研修及び訓練を行っていることを確認している。

1

《アンケート》

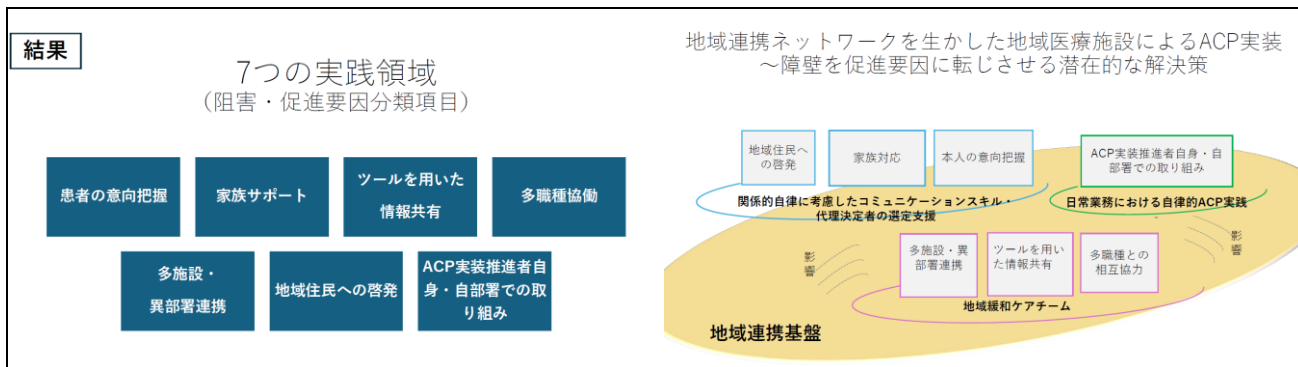
- ・ 実地指導を行った上での現実的な対策の具体的な方法がわかった。
- ・ 現場で取り組んでいることを確認ができて良かったです。
- ・ 実地指導を受けた側です。加算の算定に限らず、当施設として行っている感染対策が正解なのか第3者の立場で評価して頂く機会は非常に大切だと思います。
- ・ 実際に意見交換や、不安な事などの質問を聞いてくださりとても良かったです。

当地域で取り組んでいるアドバンス・ケア・プランニング（ACP）について、以下の報告を行いました。

（１）地域連携ネットワークを生かした地域医療施設による ACP 実装

東京医療保健大学 医療保健学部 看護学科 教授 谷本 真理子

「地域の多職種・多施設で行う高齢者への ACP 実践の阻害要因と促進要因はどのようなものか？」をテーマに研究されています。この間、当地域の医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、リハビリ職、薬剤師、合計 22 名のインタビューをもとに、7 つの実践領域（阻害・促進要因分類項目）について報告をいただきました。※以下、谷本 真理子 教授発表資料より



（２）ミクロ実践からの出発～ソーシャルアクション実践報告～（チーム医療推進学会演題発表）

社会医療法人恵和会 西岡病院 医療介護相談センター 横田 法律

2 月 23 日に開催されたチーム医療推進学会 (<https://www.team-med.jp/news/2024-10-08/>) で発表した高齢者の人口増加に伴い、誤嚥性肺炎が増加していることから、地域課題の抽出と解決に向けた取り組みの報告がありました。

※以下、横田 法律 MSW発表資料より

メゾ③：摂食嚥下支援チーム N-EAT

2023.5 摂食嚥下支援チーム N-EAT（エヌ-イート）立ち上げ

Nishioka-Enge-Anshin-Team 西岡-嚥下-安心-チーム
【 EAT = 食べる 】

メンバー：医師、看護師、言語聴覚士、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー

活動内容：嚥下機能検査業務の効率化
摂食嚥下評価入院パス

リハ医による嚥下内視鏡検査 チームカンファレンス 摂食嚥下評価入院パス

結論

メゾ・マクロの視点

- ミクロ実践から地域課題を見出す（退院＝ゴールではない）
- 活動するときは「メゾ+マクロ」で組み立てる（どう発展させるか）

仲間探し

- 組織へ働きかける（活動環境づくり）
- 同じ思いを共有する（カンファレンスなど）

継続した活動

- 個々の思いに寄り添う（ACP / ミクロ実践の質向上）
- 継続して実践すること（コツコツと…）

《アンケート》

- ・ 阻害、促進因子の部分では、なるほどと思ひ信頼関係の構築はどんな場面でも必要と感じました。
- ・ 阻害要因と促進要因という理念を知ることができ、普段の業務の延長線上にある資質向上につながる可能性があると思った。
- ・ ACP の活動には想いがあるから、進化し続けている事を学んだ。
- ・ ご利用者が自宅で安心して暮らしていくためには医療などの地域との連携が必要なことを再確認しました。
- ・ ACP への考え方や取り組み、地域包括ケアの視点やプラス因子、マイナス因子、課題解決へ向けてどう 1 人ひとりのご入居者様やご家族様と一緒に取り組んでいくかを改めて考えるきっかけとなりました。
- ・ 現場で ACP 実践は行っており、今回の学問的視野での講義内容はとても学びになった。実際の対応に生かして、今よりさらに患者や家族の役に立ちたいと思う。

○第 4 回合同会議 令和 7 年 6 月 30 日(月)(予定)

とよひら・りんく事務局 西岡病院 岡村・横田 ホームページ: <http://www.toyohiralink.jp/>

電 話 011-853-8322(平日 9-17 時) メールアドレス: info@toyohiralink.jp